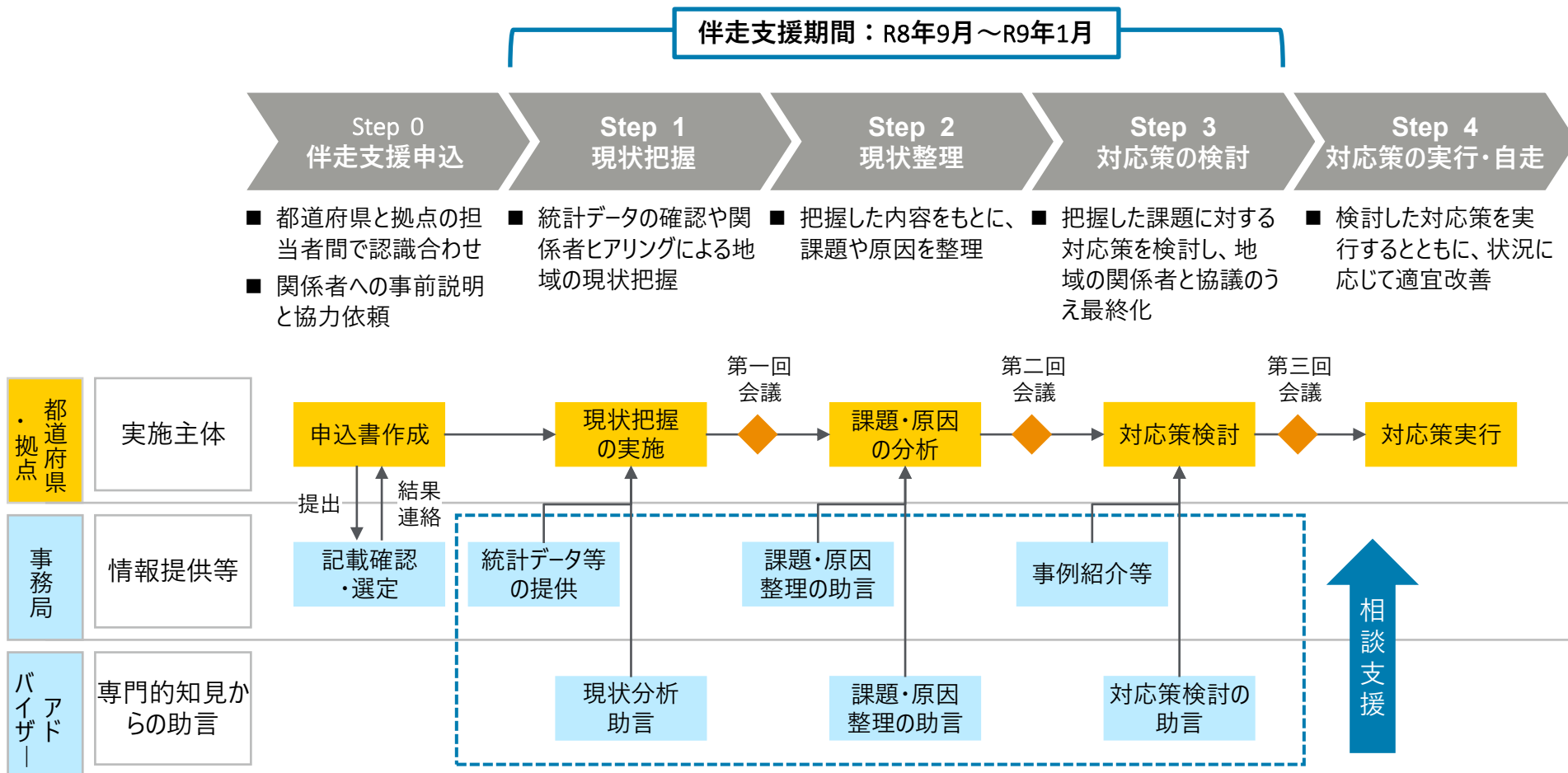


【伴走支援】

本事業は、拠点及び都道府県による地域の在宅医療の体制整備に向けた主体的な取組を促進することを目的とします

地域が主体となって進める現状把握、課題整理、対応策の検討を、事務局による情報提供やアドバイザーによる専門的・実践的な助言を通じて支援します。

伴走支援の実施イメージ



【伴走支援】

在宅医療の体制整備に課題を抱え、アドバイザーによる支援を希望する地域を対象とします

応募は、在宅医療の圏域単位で行えます。在宅医療の圏域が設定されていない場合は、二次医療圏や市町村単位でも応募可能です。お申込みの際は、事前に都道府県と拠点の担当者と内容を確認し、都道府県の担当課を通してお申込みください。

応募要件及びアドバイザー

項目	令和8年度公募要領
申込先	地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業 事務局 • E-mail : zaitaku@tohmatu.co.jp
申込締切	令和8年7月31日（金） ※都道府県を通して申込
対象地域	在宅医療の体制整備に課題を抱え、外部支援を希望する在宅医療の圏域 ※在宅医療の圏域がない場合、二次医療圏や市町村単位等
選定数	全国で2地域 ※応募多数の場合は、事務局にて選定
応募要件	- 都道府県が医療計画において拠点を位置づけている地域であること - 拠点を中心とし、在宅医療の体制整備に向けた取組を進めていること - 伴走支援の参加者（構成員）は、<u>拠点担当者及び都道府県（保健所を含む）担当者の双方の参加を必須とする</u>。また、伴走支援の内容によっては、本事業の関係者をに参加していただき、事業を進めることがあるため、<u>本事業について、関係団体へ事前に説明し、協力を得られる体制を確保しておくこと</u>。 ※ 関係団体の例：地域の在宅医療・介護関係者、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等の医療関係団体、介護関係団体、地域の生活支援関係者、都道府県及び保健所、市町村等

アドバイザー（五十音順）

◎：委員長

氏名	所属	役職
小栗 和美	飯塚病院 経営管理部 地域共創・広報戦略課	課長
後藤 友子	情報と選択と決定の研究所	所長
野田 智子	JA愛知厚生連 江南厚生病院	患者支援室長 兼 広報・渉外特任 病院長補佐
◎ 三浦 久幸	医療法人社団悠翔会 / 国立長寿医療研究センター	臨床研究センター長 / 客員研究員
村杉 紀明	日本薬剤師会	常務理事

- オブザーバー 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 外来・在宅医療対策室
- 事務局 有限責任監査法人トーマツ